

関根吉郎コレクションのアフリカ・マヤ資料について

ナワビアハマッド矢麻・余語琢磨

1. 関根コレクションの来歴と関根吉郎名誉教授

関根吉郎は、1915年に東京小石川で生まれ、1935年に早稲田高等学院に入学、大学理工学部で応用化学を学んだのち徴兵、戦争での負傷を機に大学に戻り、実験を手伝うことになった。戦後は、1948年に理工学部教員となり、各種樹脂などの高分子の合成と物性に関する研究を進め、1973年の化学科設立に尽力した。1986年春に定年退職し、1994年に78歳で亡くなったのち谷中霊園の一面の関根家の墓に埋葬された。

在職当時から型破りな名物教授として知られ、生涯独身、研究室で暮らしていたため、大学が閉鎖される正月には学生を連れた香港への船旅に関根研行事としていたといわれる。学生時代から登山家としてならし、海外渡航が制限されていた時期からたびたび遠征隊を組織し、山岳部の監督、ウェイトリフティング部・探検部・理工ラグビー部の部長・会長を歴任するなど、多様な分野で功績を残した。

「関根コレクション」に関していえば、1958年、アフリカ・キリマンジャロに後藤董子・鈴木耿子らとともに登頂した後、「第二の目的であるアフリカの姿をわたしたちの目で見ると」活動のなかで、アフリカ各地において生活用品・民族資料の積極的な収集を行った際の収集物が中心となっている。その様子は、早稲田大学赤道アフリカ遠征隊の著書や記録映画からかいま見ることができるが、今回の博物館の調査で、山岳部時代からの同期である故・吉阪隆正早稲田大学教授（建築家）の記したフィールドノート（2冊）や、故・鈴木耿子の遠征日記（3冊）の存在が明らかになり、コレクション成立のより詳細な経緯が判明した。さらに関根隊は、日本の霊長類研究の草分けとなる調査に赴いていた京都大学の今西錦司・伊谷純一郎らと、ケニア滞在中に邂逅していたことが、今回新たに判明した。関根らのアフリカにおける活動の先見性を示すエピソードであろう。

また、1961年、「アステカ及びマヤの古代文化の調査」を主目的とした早稲田大学中央アメリカ探査隊を率いてメキシコ・ユカタン半島を巡り、マヤ文明のパレンケ遺跡にて貴重な拓本を採集している。この探査は、『探検研究会会報』第5号に記された「計画書」以外に詳細が不明であったが、当時、大学院工学研究科の学生として探査に参加した鈴木恂早稲田大学名誉教授の協力と提供資料から、より具体的な関根の意図と実際の行程が明らかになった。

これらのコレクションは、関根の最終講義に合わせた1986年1月に「マヤ美術拓本とピグミー資料展」として展示された後、おもだったものは大学に寄贈された。その後資料は、1986年7月に理工学部59号館教務部分室より本庄校地内の教務部倉庫へ移動され、残念ながら半ば忘れられた存在となっていたが、近年の調査（2009年の人間科学学術院谷川・余語の資料整理および2016・2017年の余語と博物館ナワビ・平原の資料研究）により、当時のアフリカの文化や生活の様子、マヤ文明の重要な遺産を、現代に伝える貴重な資料を含んでいることがわかった。戦後ごく早い段階から、狭い専門領域の殻を破って大学と学生が世界へと視野を向けて行動することを求めている関根の熱い思いを、コレクションから感じ取ることができるように思われる。

2. 関根吉郎コレクションの全容

関根吉郎コレクションは、主にアフリカ遠征の際に収集された資料を中心とした民族資料と、中米探査の際にマヤ文明の神殿から採取された拓本資料から構成される。民族資料には、1958年のアフリカ遠征の際に入手したものの他に、メキシコの民芸品やオーストラリアのブーメラン、日本の自在鉤も含まれ、関根の興味の幅の広さを示す。

2-1. アフリカ民族資料（表1）

アフリカ民族資料は228点から構成される。そのほとんどが1958年のアフリカ遠征隊による収集物である。1958年1月、関根吉郎率いる遠征隊はアフリカ東海岸の港湾都市・モンバサ（ケニア）に上陸し、アフリカ横断遠征を開始する。遠征の目的にはアフリカ大陸最高峰キリマンジャロの登頂など様々あったが、アフリカの民族資料の収集も主目的の一つであった。関根は、当時「暗黒大陸」とされていたアフリカ大陸に暮らす多様な民族について記録し、日本にそのありのままの姿を紹介することを目的の一つとしていた。

遠征隊のメンバーは、早稲田大学理工学部助教授であった関根を隊長に、マネージャーの吉阪隆正（早稲田大学理工学部助教授）、医師の杉山正（早大診療所）、早大卒業生の後藤董子（文学部卒）、大野正樹（理工学部卒）、早大学生の川井勝義（商学部）、鈴木耿子（文学部）、日本映画新社のカメラマン、林田重男と今村俊輔の9名であった。

関根率いる遠征隊はイギリス領ケニア、ウガンダ、ルアンダ・ウルンディ、ベルギー領コンゴを横断し、レオポルドビル（現在のキンシャサ）まで車で走破した。3ヶ月間にわたり、各国内に居住する諸民族と接触し、民族資料を収集するとともに、スケッチや写真、映像等で民族の生活の様子や自然現象について記録した。調査の記録は『アフリカ横断 一万キロ』（1958）、『赤道のアフリカ：横断記録写真集』（1958）にまとめられている他、関根が著した『アフリカ横断 ケニアからコンゴまで』（1960）や吉阪隆正のフィールドノートなど、様々な形で残されている。特に吉阪隆正のノートには、資料のスケッチとともに入手した日付や状況、現地での呼称などが詳細に書き留められている。吉阪隆正によるフィールドノートや写真については、現在早稲田大学建築学教室本庄アーカイブズに所蔵され、活用されている。

また、調査遠征の様子は日本映画新社の林田と今村によって映像として記録され、当時の日本にアフリカの自然や生活を紹介するドキュメンタリー映画「赤道直下一万キロ アフリカ横断」として公開された。遠征隊のスケッチや写真と合わせて、当時のアフリカの様子を動画で収めたこの資料も、関根吉郎コレクションの来歴を探るうえで重要なヒントを与えるものであった。

資料収集にあたっては、現金のほかにシャツや食器などの日用品との物々交換も行われていた（早稲田大学赤道アフリカ遠征隊編 1958）。民族資料は実際に使用されていたものが大半であるが、一部に現地にすでに存在した観光土産品店や旅行客めあてに民具を売りに来る人々から購入したと推測される資料も含まれる。特に、「バンツー」のラベルがついた仮面は、バントゥー系の仮面として知られている主要な様式のいずれにも似ていない。アフリカの伝統をベースに、西欧人の目を意識した二次創作物である可能性を否定できないが、文化の「真正性」をめぐる問題意識が深化している今日、むしろ当時のアフリカの状況を示す資料という意味で重要である。

アフリカ民族資料には収集後に、「ピグミー」、「マサイ」、「バンツー」、「コンゴ」などと記されているラベルが付されている。「ピグミー」は「ムブティ族」を示す点は推測可能であるが、「マサイ」を除く他のラベルが示す具体的な場所や民族は不詳である。「バンツー」は「バントゥー系民族」あるいは「バントゥー語群」を示すと考えられるが、バントゥー系民族はサハラ以南のアフリカに広く分布しているため、資料の収集地をラベルから追うことは難しい。したがって、資料収集地の根拠となる情報は、遠征隊員が記した記録や写真、映像となる。2017年度

の企画展「アフリカ遠征一万料—関根吉郎とアフリカ・マヤ資料コレクション—」に伴う整理作業により、あらためて少なからぬ資料の来歴が照合できた。資料の入手先は、ムブティ（ピグミー）、マーサイ（図1）、ニャンガ、キクユ、トゥティなど、多くの民族からなることが判明した。特にムブティ（遠征隊はバンプティと呼称し、ラベルには「ピグミー」と記される）の資料がまとまって存在するが、彼らの居住地域内にあるパットナム・キャンプに遠征隊が5日間滞在した事実と符合する。映像資料内にも、太鼓を叩く（図2）、禪を身に着ける、狩猟するなど、民族資料が実際に使用されるシーンが確認できる。

2-2. マヤ拓本資料（表2）

拓本資料は1961年の中米探査隊により採拓されたものである。拓本資料は画仙紙を繋ぎ合わせて採られ、現在は表装された状態で保管されている。遺跡現地で採られたことが確実である拓本は、パレンケ遺跡の拓本資料のみである。他の拓本のラベルには「ベラクルス大学」と記載されていることから、ベラクルス州立大学に存在した石碑やタブレットから採拓された可能性がある。

中米探査隊は関根を隊長に7名のメンバーで組織された。隊員は大野正樹（大日本インキKK、理工学部卒）、橋本勉（たくみ工芸店、文学部卒）、二川幸夫（写真家、文学部卒）、川井勝義（自営、商学部卒）、五味充子（文学研究科美術史専修）、鈴木恂（工学研究科建築計画専修）である。関根は遠征前より拓本を目的としており、美術史や建築学を学ぶ大学院生も名を連ねていた。また大野、川井の両名はアフリカ遠征に引き続き中米探査にも参加している。

中央アメリカ探査隊は1961年1月1日に、ロサンゼルス到着すると、4月6日にパナマ運河から日本へ出発するまで、クイクイルコ遺跡、テオティワカン遺跡、ラ・ベンタ遺跡、チチェン・イツァ遺跡、コパン遺跡などアステカ・マヤの主要な遺跡を訪れ、写真撮影を行った。中米遠征での拓本は総計17点に及ぶが、遺跡現地で採取されたものはパレンケ遺跡の拓本のみである。

パレンケ遺跡はメキシコ・チアパス州に所在するマヤ古典期を代表する都市遺跡の一つである。1952年にメキシコ考古学者アルベルト・ルスによりパカル王の石棺が発掘され、パレンケは注目を集めるが、関根は日本にいながら事前にこの情報を知っていたようである。ルスによる発掘は1958年に終了し、関根は直後にパレンケ遺跡で調査を実施し拓本を採取している。関根の中米探査の数年後には、メキシコ政府により石碑、タブレットの拓本が禁止されたため、現在日本で見ることのできる貴重な拓本資料であるといえる。パレンケ遺跡においては関根コレクション拓本資料の約半数、8点の拓本が採られた。パカル王の石棺の蓋の他、十字神殿（図3）を中心とした十字グループと呼ばれる建造物群を中心に調査が行われたことがわかっている。

中米探査隊の公的な記録はアフリカ遠征のように豊富に残されていないため、探査隊の実際の状況や詳細な遠征行程は不明瞭な部分が多い。しかし、探査隊員であった鈴木恂氏の証言、また探査隊の記録写真の発見（二川幸夫ご子息由夫氏運営スタジオによる保管）により、パレンケ遺跡で実際に採拓された資料であることが確実となった。現在石棺の蓋や神殿のタブレットは触れることさえ不可能であり部分的には公開も制限されている。1:1のスケールで採られた拓本資料のもつ情報は多く、見るものを圧倒するその迫力とともに、学術的にも非常に重要な資料であるといえる。

3. まとめにかえて

関根吉郎コレクションのアフリカ民族資料全228点、拓本資料17点についてその来歴と全容を提示した。民族資料全228点のうち、遠征隊の記録に登場するなど来歴が照合できた資料は70点程度と約1/3である。民族資料の資料

的価値を高めるためにも、収集された状況や使用民族・使用状況等を把握する作業は必須である。情報量は限られているが、照合作業の手がかりとして、遠征隊員らが記した書籍のみではなく、日本映画新社による映像資料や、早稲田大学建築学教室本庄アーカイブズが所蔵する吉阪隆正フィールドノートや写真、遠征隊員個人蔵の写真やノート、スケッチ類など様々な箇所に散逸していた情報源を収集し、相補的に確認を進め新たな知見を得ることができたことは、今回の調査研究の大きな成果であった。来歴が不明な資料についても引き続き調査が進み、今後の展示や研究の基礎データとして役立てられることが期待される。なお、関根吉郎コレクションの資料整理・研究の成果の一部は、2017年度會津八一記念博物館で開催した「アフリカ横断一万キロ—関根吉郎とアフリカ・マヤ資料コレクション—」展で公開し、同時刊行した図録（ナワビ・余語編 2017）においても紹介している。

會津八一記念博物館には、関根コレクションの民族資料や拓本などの実物資料の他に、関根吉郎関連の資料が残されている。その中には映画「赤道直下一万キロ アフリカ横断」のポスターやアフリカの地図などが含まれるが、多くは関根と探検部・山岳部との関係を示す手紙や探検部の遠征計画書である。こうした資料中に重要な情報が隠されている可能性も大いに考えられるため、資料の収集および照合を進めていきたい。

謝辞

本稿執筆にあたって、下記の方々のご協力を賜りました。末筆ながらここに記し、深く御礼を申し上げます（五十音順）。

飯田卓 今村俊輔 小倉董子 小倉浩嗣 川井信矢 斎藤日登美 佐々木重洋 鈴木恂 関根寿美子 中谷礼仁
谷川章雄 寺崎秀一郎 平原信崇 二川由夫 山村健 李廷敏 早稲田大学建築学教室本庄アーカイブズ 本庄
考古資料館

参考文献

- Merle Greene Robertson 1985 The Sculpture of Palenque vol.IV The Cross Group, the North Group, the Olvidado, and Other Pieces, Princeton University Press.
- 飯田 卓 2007 「昭和30年代の海外学術エクスペディション——「日本の人類学」の戦後とマスメディア」『国立民族学博物館研究報告』31 (2)、pp.227-300
- 後藤董子 1959 『アフリカの旅 少年少女のためのアフリカ横断1万キロ』みかも書房
- コリン・M・ターンプル 1976 『森の民 — コンゴ・ピグミーとの三年間』（藤川玄人訳）筑摩書房
- 鈴木耿子 1958 『キリマンジャロの雪』実業之日本社
- 鈴木 恂 2006 『風景の狩人—建築家の視野』彰国社
- 関根先生を祝う会実行委員会編 1986 『関根吉郎先生記念会報告』
- 関根吉郎 1960 『アフリカ横断 ケニアからコンゴまで』牧書房
- ナワビアハammad 矢麻・余語琢磨編 2017 『アフリカ横断一万キロ—関根吉郎とアフリカ・マヤ資料コレクション—』會津八一記念博物館
- 早稲田大学赤道アフリカ遠征隊編 1958a 『アフリカ横断1万キロ』朝日新聞社
- 早稲田大学赤道アフリカ遠征隊編 1958b 『赤道のアフリカ：横断記録写真集』朝日新聞社
- 早稲田大学探検部OB会部史編集委員会 1990 『早稲田大学探検部30年史』早稲田大学探検部OB会

表図出典リスト

表1・2 関根吉郎コレクションの整理作業の成果を元に作成。

図1～3 筆者撮影。

表1-1 関根吉郎コレクション民族資料一覧

資料番号	資料名	数量	材 質	寸 法	収集地	収集年代	使用民族
SYA001	鉄杖	1	鉄	93.6	アフリカ	1958	バントウー
SYA002	鉄杖	1	鉄	64.4	アフリカ	1958	バントウー
SYA003	弓	1	木	62.5	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA004	弓	1	木	64.1	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA005	弓	1	木	74.0	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA006	弓	1	木	75.7	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA007	弓	1	木	76.9	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA008	弓	1	木	75.7	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA009	弓	1	木	81.5	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA010	弓	1	木	78.7	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA011	弓	1	木	81.5	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA012	弓	1	木	114.5	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA013	弓	1	木	290.2 × 1.6 × 1.8	アフリカ	1958	バントウー
SYA014	弓	1	木	306.9 × 1.7 × 1.6	アフリカ	1958	バントウー
SYA015	盾	1	革	83.1 × 51.7 × 9.3	ケニア・マサイランド	1958	マーサイ
SYA016	盾	1	木	118.5 × 35.1	ケニア・マサイランド	1958	マーサイ
SYA017	盾	1	木	63.8 × 18.5 × 8.8	アフリカ	1958	バントウー
SYA018	盾	1	木	63.5 × 20.4 × 8.0	アフリカ	1958	バントウー
SYA019	盾	1	木	69.7 × 19.7 × 8.0	アフリカ	1958	バントウー
SYA020	盾	1	木	44.3 × 17.9 × 5.7	アフリカ	1958	バントウー
SYA021	弓	1	木	66.9	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA022	弓	1	木	70.5	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA023	杵	1	木	52.3 × 5.9	アフリカ	1958	バントウー
SYA024	鉢	1	土	3.7 × 3.3 × 8.8	アフリカ	1958	バントウー
SYA025	壺	1	土	12.8 × 11.5 × 9.8	アフリカ	1958	バントウー
SYA026	土偶	1	土	15.8 × 15.4 × 12.5	中央アメリカ	—	—
SYA027	土偶	1	土	8.5 × 4.5 × 8.0	中央アメリカ	—	—
SYA028	頭飾	1	革、合成樹脂	33.8 × 14.3 × 14.0	ケニア・マサイランド	1958	マーサイ
SYA029	胸飾	1	合成樹脂	23.5 × 20.9 × 0.2	ケニア・マサイランド	1958	マーサイ
SYA030	バンド	1	布	96.5 × 5.5 × 0.5	ケニア・マサイランド	1958	マーサイ
SYA031	サンダル	1	皮	25.5 × 12.4 × 4.0	ケニア・マサイランド	1958	マーサイ
SYA032	椅子	1	木	20.5 × 15.5	ケニア・マサイランド	1958	マーサイ
SYA033	椅子	1	木	28.0 × 27.7 × 21.2	アフリカ	1958	バントウー
SYA034	椅子	1	木	23.5 × 22.9 × 18.7	アフリカ	1958	バントウー
SYA035	木鉢	1	木	23.5 × 9.8	アフリカ	1958	バントウー
SYA036	木鉢	1	木	25.9 × 8.2	アフリカ	1958	バントウー
SYA037	木鉢	1	木	71.4 × 14.6	アフリカ	1958	バントウー
SYA038	臼	1	木	24.6 × 24.8 × 20.4	アフリカ	1958	バントウー
SYA039	臼	1	木	7.6 × 24.3	アフリカ	1958	バントウー
SYA040	臼	1	木	13.4 × 25.5	アフリカ	1958	バントウー
SYA041	臼	1	木	18.4 × 19.4 × 31.8	アフリカ	1958	バントウー
SYA042	鉢	1	土	14.0 × 13.8 × 7.8	アフリカ	1958	バントウー
SYA043	鉢	1	土	10.2 × 10.0 × 7.6	アフリカ	1958	バントウー
SYA044	小壺	1	土	7.0 × 7.0 × 5.9	アフリカ	1958	バントウー
SYA045	高杯	1	土	12.0 × 11.9 × 10.5	アフリカ	1958	バントウー
SYA046	水差	1	土	17.2 × 11.0 × 16.8	アフリカ	1958	バントウー
SYA047	鉢	1	土	7.0 × 7.0 × 6.3	中央アメリカ	—	—
SYA048	椅子	1	籐	47.0 × 48.0 × 38.7	アフリカ	1958	バントウー
SYA049	椅子	1	籐	49.6 × 46.0 × 23.4	アフリカ	1958	バントウー
SYA050	椅子	1	木	27.8 × 40.5	アフリカ	1958	バントウー
SYA051	椅子	1	木	26.0 × 24.0 × 40.5	アフリカ	1958	バントウー
SYA052	籠	1	—	44.2 × 43.0 × 45.6	アフリカ	1958	バントウー
SYA053	籠	1	—	34.0 × 31.3 × 37.0	アフリカ	1958	バントウー
SYA054	籠	1	—	33.7 × 33.9 × 36.6	アフリカ	1958	バントウー
SYA055	手提籠	1	—	37.3 × 33.9 × 33.3	アフリカ	1958	バントウー
SYA056	手提籠	1	—	37.7 × 13.8 × 48.4	アフリカ	1958	バントウー
SYA057	手提籠	1	—	49.0 × 39.6 × 27.5	アフリカ	1958	バントウー
SYA058	手提籠	1	サイザル麻	45.3 × 18.4 × 39.0	アフリカ	1958	バントウー
SYA060	手提籠	1	—	27.4 × 18.4 × 27.4	アフリカ	1958	バントウー

表1-2 関根吉郎コレクション民族資料一覧

資料番号	資料名	数量	材 質	寸 法	収集地	収集年代	使用民族
SYA061	手提篋	1	サイザル麻	15.6 × 17.2 × 18.7	ケニア・リフトバレー	1958	キクユ
SYA062	手提篋	1	サイザル麻	11.2 × 9.9 × 11.9	ケニア・リフトバレー	1958	キクユ
SYA063	手提篋	1	サイザル麻	52.0 × 15.7 × 0.5	ケニア・リフトバレー	1958	キクユ
SYA064	手提篋	1	—	7.8 × 7.4 × 7.4	アフリカ	1958	バントウ
SYA065	手提篋	1	サイザル麻	41.5 × 33.0 × 0.9	ケニア・リフトバレー	1958	キクユ
SYA066	手提篋	1	—	20.5 × 18.0 × 18.6	アフリカ	1958	バントウ
SYA067	手提篋	1	—	26.8 × 23.4 × 27.1	アフリカ	1958	バントウ
SYA068	篋	1	—	30.3 × 29.9 × 13.7	アフリカ	1958	バントウ
SYA069	編皿	1	—	27.3 × 26.1 × 4.8	アフリカ	1958	バントウ
SYA070	編皿	1	—	33.0 × 31.8 × 5.6	アフリカ	1958	バントウ
SYA071	草編敷物	1	イネ科植物	34.0 × 32.0 × 0.8	アフリカ	1958	バントウ
SYA072	草編敷物	1	イネ科植物	35.0 × 34.0 × 0.6	アフリカ	1958	バントウ
SYA073	草編敷物	1	イネ科植物	107.0 × 37.0 × 0.3	アフリカ	1958	バントウ
SYA074	草編敷物	1	イネ科植物	104.0 × 37.0 × 0.2	アフリカ	1958	バントウ
SYA075	草編敷物	4	イネ科植物	134.4 × 42.6	アフリカ	1958	—
SYA076	草帽子	1	—	20.9 × 16.2 × 9.9	アフリカ	1958	バントウ
SYA077	臼	1	木	28.3 × 51.0	アフリカ	1958	バントウ
SYA078	椅子	1	木	39.6 × 29.9 × 22.4	アフリカ	1958	バントウ
SYA079	椅子	1	木	53.4 × 35.7 × 10.6	アフリカ	1958	バントウ
SYA080	篋	1	サイザル麻	98.5 × 55.4 × 19.4	アフリカ	1958	バントウ
SYA081	篋	1	サイザル麻	36. × 43.2 × 30.5	アフリカ	1958	バントウ
SYA082	篋	1	サイザル麻	51.8 × 49.7 × 25.6	アフリカ	1958	バントウ
SYA083	太鼓	1	木	28.1 × 77.7 × 29.2	アフリカ	1958	バントウ
SYA084	太鼓	1	木	31.4 × 31.4 × 59.8	アフリカ	1958	バントウ
SYA085	篋	1	—	11.5 × 11.1 × 27.5	アフリカ	1958	バントウ
SYA086	首飾	1	—	86. × 26.4 × 0.4	ケニア・マサイランド	1958	マーサイ
SYA087	褌	1	樹皮	80.5 × 61.0 × 0.1	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA088	褌	1	樹皮	67.0 × 39.0 × 0.1	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA089	腰組	1	—	97.0 × 3.0 × 1.3	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA090	腰組	1	—	96.0 × 3.0 × 1.3	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA091	矢入れ	1	—	38.0 × 19.3 × 6.7	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA092	矢入れ	1	—	43.1 × 7.2 × 6.1	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA093	ブーメラン	1	木	43.4 × 6.3	オーストラリア	—	—
SYA094	ブーメラン	1	木	71.6 × 16.7	オーストラリア	—	—
SYA095	ブーメラン	1	木	76.3 × 18.0	オーストラリア	—	—
SYA096	ブーメラン	1	木	76.7 × 16.0	オーストラリア	—	—
SYA097	椅子	1	木	大 3.7 × 39.9 × 91.2	アフリカ	1958	バントウ
SYA098	網	1	—	18.0 × 16.5 × 4.0	アフリカ	1958	バントウ
SYA099	網	1	—	32.0 × 4.0 × 5.0	アフリカ	1958	バントウ
SYA100	網	1	—	41.0 × 9.0 × 8.0	アフリカ	1958	バントウ
SYA101	網	1	—	40.0 × 7.0 × 6.5	アフリカ	1958	バントウ
SYA102	網	1	—	331.0 × 1.5 × 1.5	アフリカ	1958	バントウ
SYA103	網	1	—	26.0 × 4.5 × 5.0	アフリカ	1958	バントウ
SYA104	網	1	—	24.5 × 7.7 × 7.7	アフリカ	1958	バントウ
SYA105	植物繊維	1	—	49.9 × 11.1 × 4.9	アフリカ	1958	バントウ
SYA106	植物繊維	1	—	18.1 × 7.9 × 2.1	アフリカ	1958	バントウ
SYA107	籐	1	—	27.1 × 23.1 × 3.1	アフリカ	1958	バントウ
SYA108	籐	1	—	39.0 × 17.2 × 3.5	アフリカ	1958	バントウ
SYA109	瓢箪	1	瓢箪	6.9 × 10.0	アフリカ	1958	バントウ
SYA110	瓢箪	1	瓢箪	6.8 × 10.0	アフリカ	1958	バントウ
SYA111	瓢箪	1	瓢箪	8.8 × 15.5	アフリカ	1958	バントウ
SYA112	瓢箪	1	瓢箪	11.6 × 12.8	アフリカ	1958	バントウ
SYA113	瓢箪	1	瓢箪	10.2 × 20.5	アフリカ	1958	バントウ
SYA114	瓢箪	1	瓢箪	15.0 × 14.0 × 24.5	アフリカ	1958	バントウ
SYA115	瓢箪	1	瓢箪	71.8 × 13.4	ケニア・マサイランド	1958	マーサイ
SYA116	人形	1	木	7.0 × 7.9 × 33.1	アフリカ	1958	バントウ
SYA117	人形	1	木	12.0 × 8.8 × 32.3	アフリカ	1958	バントウ
SYA118	人形	1	木	7.7 × 6.5 × 37.2	アフリカ	1958	バントウ
SYA119	人形	1	木	5.5 × 8.1 × 20.5	アフリカ	1958	バントウ
SYA120	人形	1	木	7.8 × 10.4 × 22.2	アフリカ	1958	バントウ

表1-3 関根吉郎コレクション民族資料一覧

資料番号	資料名	数量	材 質	寸 法	収集地	収集年代	使用民族
SYA121	人形	1	木	3.7 × 5.0 × 23.3	アフリカ	1958	バントウー
SYA122	人形	1	木	6.3 × 8.3 × 29.4	アフリカ	1958	バントウー
SYA123	人形	1	木	6.0 × 5.9 × 31.0	アフリカ	1958	バントウー
SYA124	人形	1	木	7.0 × 5.3 × 22.0	アフリカ	1958	バントウー
SYA125	人形	1	木	6.7 × 8.8 × 22.1	アフリカ	1958	バントウー
SYA126	人形	1	木	10.5 × 9.9 × 36.9	アフリカ	1958	バントウー
SYA127	人形	1	木	7.2 × 7.4 × 24.2	アフリカ	1958	バントウー
SYA128	人形	1	木	5.0 × 6.1 × 24.5	アフリカ	1958	バントウー
SYA129	人形	1	木	3.9 × 3.8 × 16.0	アフリカ	1958	バントウー
SYA130	人形	1	木	3.3 × 3.4 × 17.2	アフリカ	1958	バントウー
SYA131	仮面	1	木	37.1 × 19.7 × 9.3	メキシコ	—	—
SYA132	木皿	1	木	42.8 × 20.4 × 3.4	アフリカ	1958	バントウー
SYA133	木鉢	1	木	13.2 × 5.3	アフリカ	1958	バントウー
SYA134	スプーン	1	木	42.5 × 7.4 × 2.7	アフリカ	1958	バントウー
SYA135	スプーン	1	木	40.2 × 9.3 × 3.3	アフリカ	1958	バントウー
SYA136	ナイフ	1	木	24.1 × 3.8 × 1.1	アフリカ	1958	バントウー
SYA137	サンダル	1	木	25.2 × 6.1 × 6.0	アフリカ	1958	バントウー
SYA138	サンダル	1	木	20.5 × 7.9 × 9.4	アフリカ	1958	バントウー
SYA139	櫛	1	木	22.1 × 5.9 × 0.4	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA140	櫛	1	木	11.0 × 4.0 × 0.5	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA141	櫛	1	木	22.3 × 8.1 × 1.1	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA142	櫛	1	木	18.2 × 8.0 × 1.5	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA143	仏子	1	—	33.8 × 1.4 × 2.0	アフリカ	1958	バントウー
SYA144	弦楽器	1	木、革	34.8 × 11.2 × 44.8	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA145	弦楽器	1	木、革	38.0 × 12.3 × 3.5	アフリカ	1958	バントウー
SYA146	弦楽器	1	木、革	49.6 × 9.4 × 11.7	アフリカ	1958	バントウー
SYA147	笛	1	植物	2.5 × 2.5 × 49.2	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA148	樹皮布	1	樹皮	214.6 × 195.5 × 0.3	ウガンダ	1958	—
SYA149	楽器	1	木、金属	18.5 × 10.4 × 5.0	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA150	楽器	1	木、金属	28.9 × 14.3 × 5.0	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA151	楽器	1	—	23.0 × 20.1 × 8.2	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA152	楽器	1	木、金属	18.5 × 17.6 × 9.0	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA153	太鼓 (小)	1	木	25.3 × 19.1 × 17.3	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA154	太鼓 (小)	1	木	18.7 × 16.5 × 15.7	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA155	仮面	1	木	29.8 × 17.4 × 9.3	コンゴ	1958	バントウー
SYA156	仮面	1	木	26.4 × 15.4 × 7.1	コンゴ	1958	バントウー
SYA157	仮面	1	木	22.6 × 13.1 × 8.3	コンゴ	1958	バントウー
SYA158	仮面	1	—	22.5 × 31.8 × 10.4	アフリカ	1958	バントウー
SYA159	狩猟用網	1	—	40.1 × 15.6 × 8.7	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA160	弓	1	木	65.2 × 15.5	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA161	弓	1	木	71.7 × 13.0	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA162	腰紐	1	植物繊維	75.9 × 0.8 × 0.4	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA163	褌	1	樹皮	70.5 × 26.5 × 0.1	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA164	椅子	1	木	22.2 × 19.7 × 24.5	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA165	椅子	1	木	15.4 × 13.6	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA166	椅子	1	木	28.4 × 27.2 × 18.2	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA167	弦楽器	1	木、革	37.4 × 10.8 × 45.8	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA168	太鼓	1	木	71.2 × 21.4 × 24.4	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA169	太鼓の杓	1	木	5.7 × 4.7 × 33.4	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA170	太鼓の杓	1	木	5.1 × 4.0 × 32.0	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA171	太鼓の杓	1	木	5.6 × 4.8 × 33.0	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA172	仮面	1	木	44.2 × 25.4 × 15.4	アフリカ	1958	バントウー
SYA173	装飾板	1	木	42.4 × 6.5	オーストラリア	—	—
SYA174	装飾板	1	木	49.3 × 5.8	オーストラリア	—	—
SYA175	装飾板	1	木	49.2 × 6.2	オーストラリア	—	—
SYA176	壁掛ラマ	1	木	25.6 × 24.1 × 2.7	メキシコ	—	—
SYA177	壁掛婦人像	1	木	30.6 × 11.8 × 2.5	メキシコ	—	—
SYA178	壁掛男子頭部	1	木	9.6 × 5.0 × 2.6	メキシコ	—	—
SYA179	壁掛男子頭部	1	木	9.4 × 4.7 × 2.4	メキシコ	—	—
SYA180	壁掛男子頭部	1	木	9.6 × 4.8 × 2.5	メキシコ	—	—

表1-4 関根吉郎コレクション民族資料一覧

資料番号	資料名	数量	材 質	寸 法	収集地	収集年代	使用民族
SYA181	土鈴	1	土	5.9 × 5.3 × 13.2	メキシコ	—	—
SYA182	鉄鍬	1	鉄	5.6 × 2.0	アフリカ	1958	バントゥー
SYA183	鉄鍬	1	鉄	10.0 × 2.5	アフリカ	1958	バントゥー
SYA184	腰紐	1	植物繊維、樹皮	84.9 × 1.2 × 1.1	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA185	腰紐	1	植物繊維、樹皮	107.9 × 2.2 × 0.9	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA186	襪	1	樹皮	79.5 × 8.4 × 0.1	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA187	襪	1	樹皮	62.2 × 37.7 × 0.1	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA188	舂子	1	木	27.4 × 2.4 × 2.0	アフリカ	1958	バントゥー
SYA189	舂子	1	木	35.0 × 2.5 × 2.4	アフリカ	1958	バントゥー
SYA190	舂子	1	木	29.5 × 2.3 × 2.5	アフリカ	1958	バントゥー
SYA191	舂子	1	木	38.0 × 1.9 × 2.0	アフリカ	1958	バントゥー
SYA192	鹿の角	1	鹿角	67.0 × 27.3 × 17.8	ケニア・マサイランド	1958	マーサイ
SYA193	カモシカの角	1	角	72.2 × 40.0 × 16.1	ケニア・マサイランド	1958	マーサイ
SYA194	ハイエナの頭骨	1	頭骨	23.0 × 15.5 × 9.3	ケニア・マサイランド	1958	マーサイ
SYA195	亀甲羅	1	亀甲羅	25.6 × 19.4 × 6.8	メキシコ	—	—
SYA196	亀甲羅	1	亀甲羅	38.2 × 26.6 × 11.1	メキシコ	—	—
SYA197	象の尾	1	尾	59.8 × 5.0 × 2.2	コンゴ・パットナムキャンプ	1958	ムブティ
SYA198	槍	1	木、鉄	223.0	コンゴ・キブ湖周辺	1958	ニャンガ
SYA199	槍	1	木、鉄	223.0	コンゴ・キブ湖周辺	1958	ニャンガ
SYA200	槍	1	木、鉄	200.0	コンゴ・キブ湖周辺	1958	ニャンガ
SYA201	槍	1	木、鉄	206.0	コンゴ・キブ湖周辺	1958	ニャンガ
SYA202	槍	1	木、鉄	121.9	アフリカ	1958	バントゥー
SYA203	槍	1	木、鉄	77.0	アフリカ	1958	バントゥー
SYA204	槍	1	木、鉄	112.0	アフリカ	1958	バントゥー
SYA205	儀仗	1	木	113.2	アフリカ	1958	バントゥー
SYA206	儀仗	1	木	91.6	アフリカ	1958	バントゥー
SYA207	棍棒	1	木	111.8 × 4.3	アフリカ	1958	バントゥー
SYA208	櫓	1	木	217.3 × 12.0 × 3.3	アフリカ	1958	バントゥー
SYA209	土偶人面	1	土	4.5 × 3.0 × 1.4	コスタリカ	—	—
SYA210	土偶猿	1	土	2.8 × 2.3 × 1.5	コスタリカ	—	—
SYA211	土偶豚	1	土	3.3 × 3.4 × 2.0	コスタリカ	—	—
SYA212	土偶獣面	1	土	2.2 × 2.9 × 1.6	コスタリカ	—	—
SYA213	小壺	1	—	7.0 × 7.0 × 6.4	南米	—	—
SYA214	小土器	1	土	4.2 × 4.2 × 1.7	南米	—	—
SYA215	装飾土板	1	土	7.2 × 6.7 × 0.6	オーストラリア	—	—
SYA216	酒瓶	1	—	11.0 × 6.5 × 16.7	メキシコ	—	—
SYA217	酒瓶	1	—	8.4 × 8.2 × 15.6	アフリカ	1958	バントゥー
SYA218	大筆	1	—	56.0 × 54.3 × 45.5	アフリカ	1958	バントゥー
SYA219	木製品	1	木	84.7 × 8.4	パプアニューギニア	—	—
SYA220	河馬頭骨	1	頭骨	52.4 × 50.2 × 49.5	アフリカ	1958	—
SYA221	大角鹿の角	1	鹿角	—	アフリカ	1958	—
SYA222	丸木舟	1	木	179.7 × 51.0 × 33.6	コンゴ・キブ湖周辺	1958	バントゥー
SYA223	仮面	1	木	49.0 × 36.5 × 9.3	アフリカ	1958	バントゥー
SYA224	仮面	1	木	49.0 × 37.3 × 12.8	アフリカ	1958	バントゥー
SYA225	仮面	1	木	43.5 × 32.7 × 11.0	アフリカ	1958	バントゥー
SYA227	スプーン	1	木	56.8 × 6.0	アフリカ	1958	バントゥー
SYA228	儀仗	1	木	67.5	アフリカ	1958	バントゥー
SYA229	儀仗	1	木	48.2	アフリカ	1958	バントゥー
SYA230	自在鍵	1	木	—	日本	—	—

※ SYA059、SYA226 は欠番

表2 関根吉郎コレクション拓本資料一覧

資料番号	資料名	遺跡	採集年	採取地	横 (m)	縦 (m)
SYT001	葉十字の神殿	パレンケ	1961	パレンケ遺跡	2.85	1.80
SYT002	太陽の神殿	パレンケ	1961	パレンケ遺跡	2.45	1.83
SYT003	十字神殿	パレンケ	1961	パレンケ遺跡	3.30	1.83
SYT004	十字神殿：供物をささげる祭司（キニチ・カン・パラム2世）	パレンケ	1961	パレンケ遺跡	—	—
SYT005	十字神殿：タバコを吸う祭司（神L）	パレンケ	1961	パレンケ遺跡	—	—
SYT006	銘文の神殿・石棺の蓋	パレンケ	1961	パレンケ遺跡	2.33	3.87
SYT007	宮殿の壁	パレンケ	1961	パレンケ遺跡	2.60	2.60
SYT008	貴人に供物を捧げる男女の祭司	パレンケ	1961	パレンケ遺跡	1.59	1.45
SYT009	生け簀の石	アステカ	1961	メキシコ国立人類学博物館	8.17	1.06
SYT010	戦士像？	オルメカ？	1961	ベラクルス大学	1.31	1.32
SYT011	齊壇	不明	1961	ベラクルス大学	1.34	0.66
SYT012	石碑	トルテカ	1961	ベラクルス大学？	2.80	1.27
SYT013	トルテカ1 杖を持つ男子（右向き）	トルテカ	1961	ベラクルス大学	0.67	2.25
SYT014	トルテカ2 盾を携える戦士（右向き）	トルテカ	1961	ベラクルス大学	0.63	2.91
SYT015	トルテカ3 盾を携える戦士2（左向き）	トルテカ	1961	ベラクルス大学	0.65	2.70
SYT016	トルテカ4 頭飾りの男子（左向き）	トルテカ	1961	ベラクルス大学	0.67	2.20
SYT017	トルテカ5 杖を持つ男子（左向き）	トルテカ	1961	ベラクルス大学	0.67	2.66

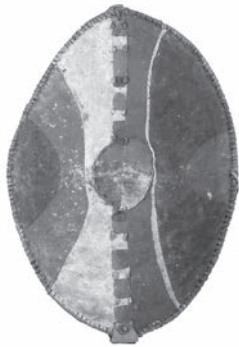


図1 盾・マーサイ（SYA016）



図2 太鼓（Mangungu）・ムブティ（SYA168）

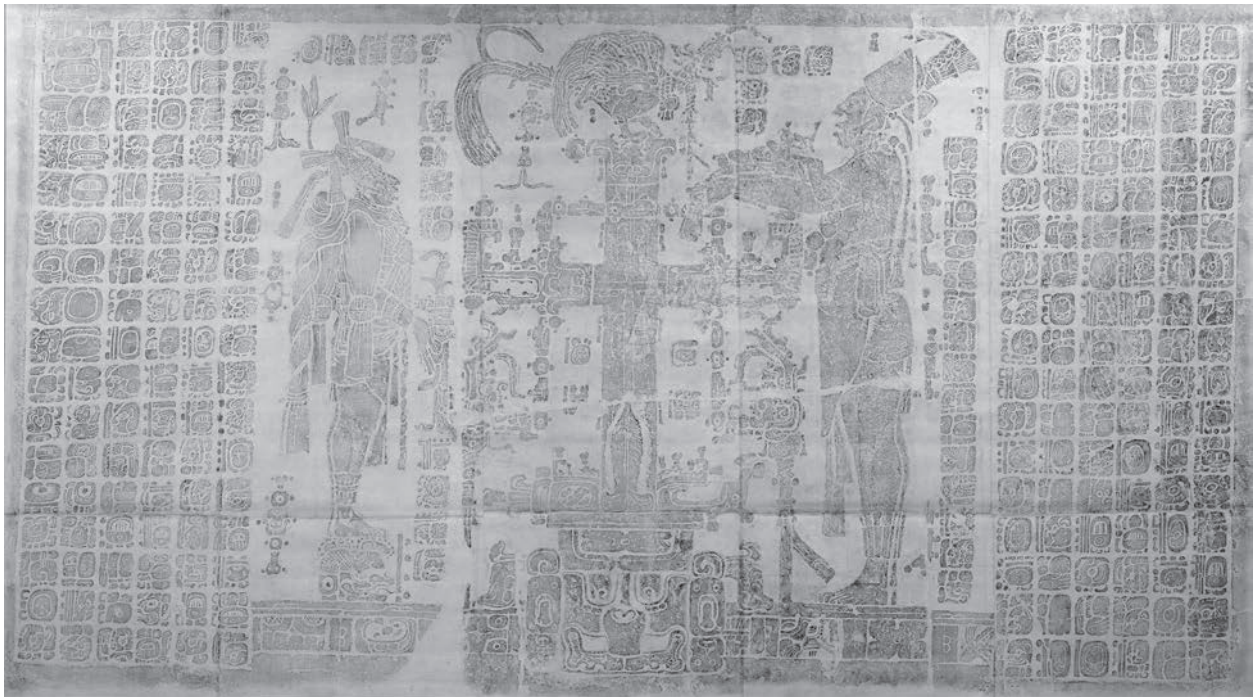


図3 十字神殿タブレット拓本（SYT003）